



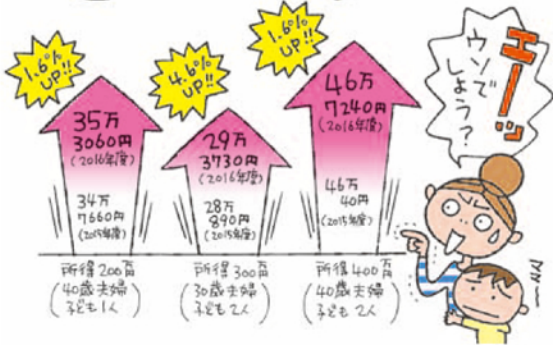
国保

払える国保料に!

国と自治体の責任で
市民の命と健康を守れ

林まり市議

こんなに高い国保料



医療を受けるために必要な国民健康保険——高すぎる保険料が長年、問題になっています。とりわけ高齢者や低所得の方には、過重な負担となっています。

保険料を支払うと医療費が払えず治療を中断した、保険料が払えず手元に保険証がなく病院に行けなくなると、手遅れで亡くなった方が大津市にも複数おられます。国民健康保険料の更なる値上げは、市民の命と暮らしを脅かすことに直結します。一般会計からの繰入れを増額しても、保険料を下げ市民負担を軽



減することが必要です。また、保険料は前年度所得に基づいて計算されるため、なんらかの理由で収入が減少した場合、たちまち高額の保険料が家計を圧迫します。当年度の所得減少に応じた減免基準への見直しが求められます。

林市議の質問に対し、市は「一般会計からの繰

質問に立つ林市議

※林市議は他に、児童クラブ、マイナンバー制度、18歳選挙権についても質問しました。

医療・介護の充実を

健康で暮らし続けられる大津市へ

6月通常会議が終了しました。国の悪政から市民を守る市政を求め、党市議団は様々な角度から提案、議論を行いました。

介護

安心・安全の老後を

高齢者と家族の願いに応える介護保険制度に

たてみち秀彦市議



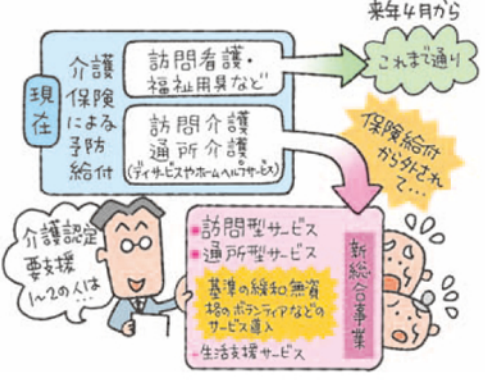
デイサービス利用者の方と話すたてみち市議

この事業は、基準を緩和したサービスや、資格を持たないNPO・ボランティア団体によるサービスを設けて、介護の質や量を低下させる危険があります。たてみち市議はそのような事態を生み出さないために、市の姿勢を質しました。

市は「住民が行うサービスのみに委ねるものではなく、希望を把握し判断しサービスを提供する」と答えましたが、先行きは不透明です。

現在、国では介護保険制度見直しの議論が続いており、今後さらに要介護1・2の生活援助や福祉用具の貸与などが保険給付から外される案が示されています。必要な人が必要介護サービスを受けられるよう、強く求めていきます。

※たてみち市議は他に、企業局のあり方、料金についても質問しました。



子どもの医療費助成 来年1月から入院も小学校卒業までに!



今議会で、来年1月から通院・入院とも小学校卒業まで、子どもの医療費助成の対象を拡大する条例改正が可決されました。市民のみならずと共産党市議団の粘り強い運動の成果です。全国では中学校卒業まで完全無料の流れが進んでいます。引き続き拡充に取り組んでいきます。

共産党と市民の運動で前進